

コロラド州：小麦作柄と気象状況 2011年5月15日現在

概況 コロラド州の5月15日に終わる1週間の気象は、州南東部平原も含め限られた雨量であったが降雨を伴う平年より低目の気温の気象であった。山岳部の降雪量は前週より増加し、北部山岳部の積雪量は昨年 of 180%、全州平均の積雪量は平年の160%となった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.0日(前週:5.9日)であった。圃場のTopsoil及びSubsoilの土壌水分は前週より改善し、“Adequate”の圃場が増えたが、昨年より悪い状態が続いた。2011年産冬小麦は全州の77%にて節間成長期となり、14%が出穂した。出穂は昨年より多少早い、5年平均より遅れていた。降雨は記録されたが、降水量は小麦の作柄を改善するには不十分であった。冬小麦作柄は前週より“Good”が減り“Fair”と“Poor”が多少増えた。作柄は昨年より悪い評価であった。

全米の2011年産冬小麦の生産量予想(5月1日付け)では、生産量は約14億2千万ブッシェル(約3,900万トン)であり、2010年産より4%減の予想であった。コロラド州の2011年産冬小麦の生産量予想は下表の通りであった。

2011年5月15日現在：土壌水分(*)

(%)		Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	20	19	57	4
	Last week	31	30	36	3
	Last year	0	10	86	4
Subsoil	This week	25	28	44	3
	Last week	31	31	35	3
	Last year	0	7	91	2

2011年5月15日現在：冬小麦生育状況(*)

(%)	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Avg.
Jointed	77	67	78	87
Headed	14	8	5	20

2011年5月15日現在：冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	17	24	39	19	1
Last week	18	23	37	21	1
Last year	0	3	18	59	20

(*) Source : National Agricultural Statistics Service, USDA-Colorado Field Office. 5-yr avg. means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010.

USDAの2011年5月1日付け(5月11日発表)の2011年産冬小麦の生産量予想では、コロラド州の2011年産冬小麦の作付面積は昨年より2%程増えたが、生育不良より牧草とされた圃場が多く収穫予想面積は昨年比91.5%の2,150,000acres(昨年:2,350,000 acres)であり、単収は昨年より15.0 bu/acre少ない30.0 bu/acreの予想であり、生産量は豊作であった昨年の61.0%、64,500,000 bushels(約175.5万トン)の予想であった。詳細は下表

の通り。

USDA2011年5月11日発表：2011年産冬小麦の収穫予想

Crop	Area Planted 1,000 acres		Area harvested 1,000 acres		Yield/acre bushel		Production 1,000 bushel		
	2010	2011	2010	2011	2010	2011	2009	2010	2011
Colorado	2,450	2,500	2,350	2,150	45.0	30.0	98,000	105,750	64,500
USA	37,335	40,990	31,749	32,039	46.8	44.5	1,524,608	1,485,236	1,424,357

National Agricultural Statistics Service, U.S.D.A

以上